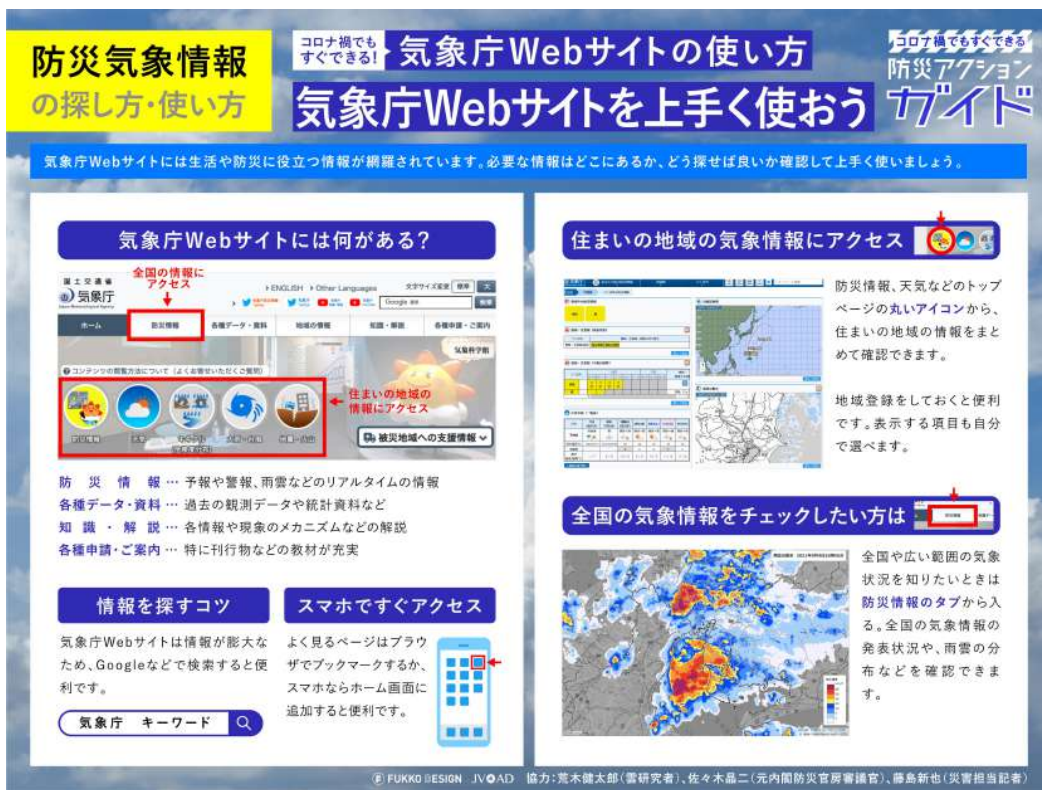


2021年11月吉日

TBWA\HAKUHODO と専門家の有志が制作 SNS で発信できる！自分でもできる災害対応をまとめた 『気象庁 Web サイトの使い方』 『災害時の SNS リテラシー』 を公開

TBWA\HAKUHODO（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：今井明彦）と FUKKO DESIGN（本社：東京都渋谷区 代表理事：河瀬大作）は、災害が多発する中で気象や気候、防災に関する情報を正しく得るために『コロナ禍でもすぐできる！気象庁 Web サイトの使い方』 『コロナ禍でもすぐできる！災害時の SNS リテラシー』 を発表しました。



TBWA\HAKUHODO と FUKKO DESIGN は、これまでに『防災アクションガイド』として、「大雨&台風」「熱中症」「天気の急変」「冬の荒天」「地震&津波」「女性向け防災」など様々なテーマで自然災害のための対策集をまとめてきました。その中でも気象庁の Web サイトをはじめ、災害時に役立つ情報の収集方法については多くの方々から反響をいただきました。そこで、今回、災害時に限らず、日常の気象、気候、防災と様々な領域において身近な情報から専門的な知識まで網羅されている気象庁の Web サイトの使用方法を紹介する『コロナ禍でもすぐできる！気象庁 Web サイトの使い方』をまとめました。さらに、近年、災害時にデマをはじめとした誤った情報が SNS で投稿され問題になるケースが見られます。そこで、様々な情報が溢れる SNS において、どのように正しい情報を選ぶのかを紹介する『災害時の SNS リテラシー』も併せて用意しました。

今回も、TBWA\HAKUHODO のメンバー、元内閣府防災担当官房審議官の佐々木晶二氏や、災害支援団体の調整などを行う NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワークの明城徹也氏らとともに有志のチームを結成し、気象専門家、災害担当記者などへの協力を得て制作しました。

災害時にさまざまな情報が飛び交う SNS での拡散を視野に入れ、わかりやすさはもちろんのこと、すぐに実践できるようにイラストなどを交えた画像にしました。地震や津波の対策について今一度考え、少しでも多くの方々に役立てていただければ幸いです。

『コロナ禍でもすぐできる！気象庁 Web サイトの使い方』は、「①防災気象情報の探し方・使い方」「②気象・気候の調べ方・学び方」の大きく2つに分けてまとめられています。それぞれ気象庁 Web サイトにある情報の調べ方などについて紹介しています。

<防災気象情報の探し方・使い方>

「気象庁 Web サイトをうまく使おう」

気象庁のサイトにはどのような情報があって、どのようにさがしていくべきか説明しています。

「最新の気象情報をチェック」

今日明日などの天気や時間ごとの天気、雨雲の動きの調べ方を紹介しています。

「少し先の天気・天候をチェック」

1 週間先、2 週間先までの天気や、数ヶ月先の気温や雨の傾向など、少し先の情報をまとめています。

「災害の危険を知るための情報」

水害の危険度や台風の進路の見方や、注目すべき危険を知らせる情報などを紹介しています。

<気象・気候の調べ方・学び方>

「気象のデータを見てみよう」

「各種データ・資料」の中にある最新・過去の観測データや、過去の災害の情報などについて解説しています。

「気候のデータを見てみよう」

「地球環境・気候情報の総合ページ」「地球温暖化情報ポータル」にある異常気象や温暖化などを説明しています。

「気象・気候の解説を見てみよう」

「知識・解説」ページにある災害や天気などの気象、または温暖化などの気候の解説について紹介しています。

「気象・気候の教材で学ぼう」

気象庁の業務や調査などについてまとめたテキストや、気象を学びたい人向けの情報をまとめています。

**防災気象情報
の探し方・使い方**

コロナ禍でも
すぐできる!


気象庁Webサイトの使い方

気象庁Webサイトを上手く使おう

コロナ禍でもすぐできる
防災アクション
ガイド

気象庁Webサイトには生活や防災に役立つ情報が網羅されています。必要な情報はどこにあるか、どう探せば良いか確認して上手く使しましょう。

気象庁Webサイトには何がある？



防災情報… 予報や警報、雨雲などのリアルタイムの情報
各種データ・資料… 過去の観測データや統計資料など
知識・解説… 各情報や現象のメカニズムなどの解説
各種申請・ご案内… 特に刊行物などの教材が充実


情報を探すコツ

気象庁Webサイトは情報が膨大なため、Googleなどで検索すると便利です。


気象庁 キーワード

スマホですぐアクセス

よく見るページはブラウザでブックマークするか、スマホならホーム画面に追加すると便利です。



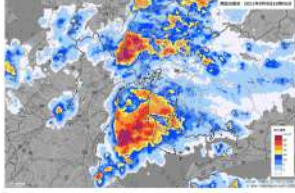
住まいの地域の気象情報にアクセス



防災情報、天気などのトップページの丸いアイコンから、住まいの地域の情報をまとめて確認できます。

地域登録をしておくと便利です。表示する項目も自分で選べます。

全国の気象情報をチェックしたい方は



全国や広い範囲の気象状況を知りたいときは防災情報のタブから入る。全国の気象情報の発表状況や、雨雲の分布などを確認できます。

© FUKKO DESIGN JV AD 協力: 荒木健太郎(雷研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

**防災気象情報
の探し方・使い方**

コロナ禍でも
すぐできる!

気象庁Webサイトの使い方

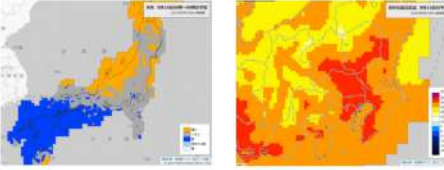
最新の気象情報をチェック

コロナ禍でもすぐできる
防災アクション
ガイド

気象庁Webサイトで、詳細な天気予報や雨雲の動き、今後の雨の予測を確認できます。最新の気象情報を上手く使って、生活や防災に役立てましょう。

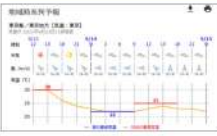
今日・明日の天気や気温の予報にアクセス

気象庁 天気分布予報 検索



今日と明日の3時間毎の全国の予報を確認できます。
天気分布予報は住まいの街や周辺の地域でどう天気か変化するか確認するのに便利です。

時系列で天気の変化をチェック




地図をクリックすると地域の「時系列予報」を確認できます。時系列予報は出かけるときの服装や、傘を持って行く必要があるかなどを判断するのに便利です。

いまとこれからの雨雲を確認しよう

「ゲリラ豪雨」も直前に察知すれば避難するなど対策がとれます。急に周囲が暗くなるなど空の異変に気づいたら、すぐにレーダーで雨の状況を確認しましょう。

積乱雲の位置と動きを知る


気象庁 雨雲の動き



3時間前から1時間先までの雨雲の動きをチェック

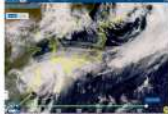
これからの雨を知る

気象庁 今後の雨



15時間先までの雨の状況をチェック

宇宙から雲を見てみよう



気象衛星ひまわりで観測した高解像度のリアルタイムの画像を見ることが出来ます。「トゥルーカラー再現画像」は目で見た色を再現したものです。見上げた空の雲がどこからきたか、調べてみましょう。

© FUKKO DESIGN JV AD 協力: 荒木健太郎(雷研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

気象・気候の調べ方・学び方

コロナ禍でもすぐできる!

気象庁Webサイトの使い方

気象のデータを見てみよう

コロナ禍でもすぐできる!

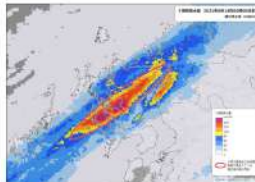
防災アクションガイド

気象庁Webサイトには気象や気候に関する情報や知識が網羅されています。情報の探し方を確認し、学んでみましょう。

「各種データ・資料」のページ

気象のほか、気候、海洋、地震・津波・火山のデータもあります。

過去の災害をふりかえろう




ホーム > 各種データ・資料 > 災害をもたらした気象事例
被害が大きかった過去の災害について、気象庁が当時の気象状況を詳しくまとめています。
住まいの地域でどんな季節に何が起こったかを知ること、未来の災害に備えることができます。

最新の観測データをチェック



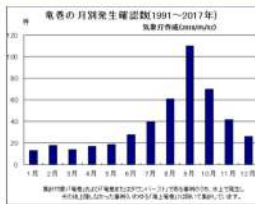
ホーム > 各種データ・資料 > 最新の気象データ
アメダスで観測した最新の気温や雨量を確認できます。
テレビなどで報道される「観測史上1位」が一目瞭然です。統計期間に留意して利用しましょう。

過去の観測データを見てみよう



ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ
住まいの地域の天気や気温、雨、風など、過去の気象データを調べることができます。気象データから地域の気象の特性を知りましょう。

台風・竜巻のデータを調べてみよう



ホーム > 各種データ・資料 > 過去の台風資料
「過去の台風資料」には台風の経路や発生件数の情報があります。
> 竜巻等の突風データベース
「竜巻等の突風データベース」には発生しやすい気象条件等のデータがあります。
日頃からの備えに活かしましょう。

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官)、藤島新也(災害担当記者)

気象・気候の調べ方・学び方

コロナ禍でもすぐできる!

気象庁Webサイトの使い方

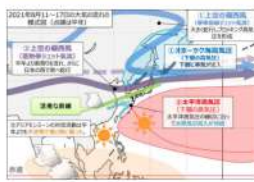
気候のデータを見てみよう

コロナ禍でもすぐできる!

防災アクションガイド

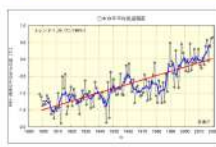
「各種データ・資料」には、ある程度長い時間で気象を見た「気候」データも豊富です。異常気象や地球温暖化など、過去・現在・未来の気候を知るのに便利です。

異常気象や天候、地球環境を調べよう



ホーム > 各種データ・資料 > 地球環境・気候情報の総合ページ
異常気象や地球温暖化をはじめ、気候データのポータルサイトです。気候のデータを探るときはまずここにアクセス。

地球温暖化の今とこれからを知ろう




ホーム > 各種データ・資料 > 地球温暖化情報ポータル
地球温暖化についての科学的知見がとりまとめられています。温暖化のことを調べるときはここにアクセス。

これからの気候の変化…気候の将来予測についてまとめ
日本の各地域における気候の変化…都道府県の気候変化と将来予測を紹介
IPCC報告書…気候変動に関する最新の科学的知見をまとめた「評価報告書」の和訳を確認できます

異常気象…世界と日本の異常気象の状況と要因を解説

異常気象があった時には、地球規模の大気の流れなど、原因が分析されます

大雨や猛暑の長期的な変化をチェック



ホーム > 各種データ・資料 > 地球環境・気候情報の総合ページ > 大雨や猛暑など(極端現象)の長期変化
猛烈な雨や猛暑日がどのくらい増えているか、データで確認できます。

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官)、藤島新也(災害担当記者)

気象・気候の調べ方・学び方

コロナ禍でも
すぐできる!

気象庁Webサイトの使い方


気象・気候の解説を見てみよう

コロナ禍でも
すぐできる!

防災アクションガイド


「知識・解説」のページでは、防災気象情報や地球環境の情報、観測や予測の技術などの解説があります。気象・気候の入門にうってつけです。

「知識・解説」のページ



- > 災害から命を守る…防災気象情報の紹介、テキスト・ビデオなど
- > ビジネス・開発者向け…気象データのビジネス利用についての知識
- > 気象…防災気象情報や現象のしくみ、観測・予測方法の紹介
- > 地球環境・気候…異常気象やエルニーニョ現象などの情報の紹介と、気候変動や地球温暖化のしくみなどについての解説

※地震・津波や海洋に関する情報の解説、しくみの紹介もあります。



災害への心構えを高めよう


- > 気象 > 発表する情報の種類
- > 早期注意情報(警報級の可能性)

種別	1日		2日	
	明け方まで	昼～夜まで	朝～夜まで	夜～朝まで
大雨	○	○	○	○
大雪	○	○	○	○
暴風(暴風警)	○	○	○	○
豪雪	○	○	○	○

5日先までに警報の出る可能性が「高」「中」の2段階でわかります。数日先に天気荒れる可能性がわかるので、予定を組むときに便利です。

天気予報がもっとわかる


- > 気象
- > 天気予報で用いる用語



天気予報で使われる雨や風の表現には定義があります。これを知っておくと、天気予報がもっとわかり、便利です。

台風を知って備える


- > 気象 > 台風



台風のアジア名や意味の一覧、メカニズムなどについてわかります。台風を知って、備えましょう。

気候の変化を知る

- > 地球環境・気候
- > 地球温暖化



猛暑日の増加や、さくらの開花時期が早まっていることなど、長期的な気候の変化のことがよくわかります。

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

気象・気候の調べ方・学び方

コロナ禍でも
すぐできる!

気象庁Webサイトの使い方

気象・気候の教材で学ぼう

コロナ禍でも
すぐできる!

防災アクションガイド

気象庁Webサイトでは、気象・気候の勉強に最適な冊子・教科書など、各種資料を無料ダウンロードできます。上手に活用して学びを深めましょう。

気象庁の業務や予報技術をチェック

気象庁の業務や調査に関する刊行物を閲覧できます。




- 「気象業務はいま」
気象庁の業務の詳細を解説
- 「気象変動監視レポート」
日本と世界の天気や海洋についての、観測に基づく最新の科学的知見

> 各種申請・ご案内 > 気象庁について > 刊行物・レポート

気象についてより深く学ぼう

気象を学びたい人向けの資料・教材が公開されています。



- リアルタイム情報…
予報現場でいま使われている最新の資料
- 各種資料集・用語集…
防災気象情報やリアルタイム情報を使いこなすための技術的な解説など
- 気象学の教科書…
予報資料を理解するための教科書

> 知識・解説 > 災害から命を守る > 気象の専門家向け資料集

災害時の情報を振り返る



災害を起こした現象や気象庁の対応の振り返りに便利です。

- > 刊行物・レポート
- > 災害時自然現象報告書

最新の予報技術を学ぶ



気象庁の最新の予報技術を詳しく学ぶことができます。

- > 刊行物・レポート
- > 予報技術研修テキスト等

教科書を上手く活用しよう



「総観気象学」基礎編と応用編、「図解中小規模気象学」は現役の気象予報士や予報担当者、気象学を志す学生にも有益な教科書です。

予報の練習ができる



予報現場で使われる「FAX天気図」や「短期予報解説資料」を使えば、自分で天気を予想して発表された予報で答え合わせができます。

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

『コロナ禍でもすぐできる！災害時のSNSリテラシー』は4枚にまとめられています。

「SNSの情報を上手に見きわめよう」

投稿内容を正しく見極める方法や、デマへの注意の仕方をまとめています。

「疑似科学・陰謀論に注意」

地震雲などの疑似科学や、気象操作などの陰謀論などの解説をしています。

「気象予測の不確実性を理解しよう」

予測と予報の違いなど、竜巻や線状降水帯、台風など予測が難しい現象などを紹介しています。

「気象情報を適切に使いこなそう」

不安をあおる気象予測に気をつけたり、リアルタイム気象情報を見たり、適切な対応方法を説明しています。

災害時の情報で
気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる！

災害時のSNSリテラシー

SNSの情報を上手に見きわめよう

50代でもすぐできる
防災アクション
ガイド

! 特に災害時には、SNS上でさまざまな情報が錯綜し、デマが流れることもあります。
SNSの情報を上手に見極めるコツを知っておくことで、災害時でも適切な判断・行動をすることができます。

投稿内容が信頼できるか確認

最新の情報が確認しよう

気象情報は頻繁に更新されるため自分で最新の情報を入手することが大切です。投稿日時に加えて、画像内の日時も確認しましょう。

情報ソースを確認しよう

ウェブの記事は2次転用のものもあります。特に過激な内容には注意し、公的機関やNHKなどのメディアの情報を確認しましょう。

発信者を確認しよう

信頼できるアカウントか確認しましょう。

- 国・自治体などの公的機関や主要なテレビ・新聞などのメディアが
- プロフィールが実名か
- 実名ならどんな人が検索
- 過去に不審な投稿をしていないか
- 他の信頼できるアカウントでも同じようなことが言われているか

災害時は特にデマに注意

RTは慎重に

公的機関の情報を確認しよう

過去の災害時には、ライオンが逃げたとか、商品が無くなるなどのデマが流れました。誤った情報を拡散しないよう情報ソースの確認を。

投稿内容に誤りがあったり、古い情報だったりする場合があります。自治体や国など公的機関のウェブサイト・SNSを確認する習慣をつけましょう。

被災地に配慮した発信・行動を

被災地や被災者を傷つける投稿はしてはいけません。また、善意であっても被災地の状況を知らずに物資の送付したり、現地に押しかけたりすると、かえって迷惑をかける。最新の情報をSNSだけでなく公的機関などで確認し、そのときにできる支援をしましょう。

〒 FUKKO | ESHN | JV | AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣防災審議官)、藤島新也(災害担当記者)

災害時の情報で 気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる!

災害時のSNSリテラシー 疑似科学・陰謀論に注意

50年でもできる
防災アクション
ガイド

! 科学的に見せかける「疑似科学」や、偏見などにもとづく「陰謀論」を唱え、不安をおおる人がいます。正確な情報を入手して正しく知り、誤った情報に振り回されたり、誤った情報を広げてしまわないようにしましょう。

疑似科学

雲は地震の前兆にはならない

大きな地震が起こると、「地震雲」が話題になります。しかし、巷で地震雲と呼ばれる雲は全て気象学で説明できるため、地下からの影響は見分けられません。地震が不安ならば備えを進めて、雲は愛でましょう。



普通飛行機雲

疑似科学

地震予知アカウントは信用してはいけない

現在の科学では、日時や場所を特定して予測する「地震予知」は不可能です。科学的な検証もされていないため地震予知はすべてデマです。日本ではM4程度以下の地震は毎日起きており日頃から地震に備えておきましょう。



陰謀論

気象操作などの陰謀論に注意

災害を「人工台風・人工地震などで人為的に引き起こされた」とか、ただの飛行機雲を「有害物質を散布している」と主張する人がいます。しかし、これらは非科学的で不安や対立をおおるだけの陰謀論なので、見かけても相手にしないよう注意。



疑似科学

地球温暖化懐疑論に注意

地球温暖化は科学的知見から間違いなく起こっていることが示されていますが、非科学的な懐疑論を主張する人もいます。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)など最新の科学的知見を信用しましょう。



IPCC

検索するとき気をつけること

ポイント

- 公的機関の情報かどうか
- 科学的根拠となるデータ等があるか
- 論文を引用しているか

「(検索ワード) 疑似科学 or 陰謀論」で検索

「地震雲」などの特定のワードだけで検索すると、科学的に関連していても肯定的な記事が出てくる場合があります。検索ワードを工夫して様々な観点で調べ、科学的に正しい情報を確認するようにしましょう。



© FUKKO DESIGN JV・AD 協力:荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

災害時の情報で 気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる!

災害時のSNSリテラシー 気象予測の不確実性を理解しよう

50年でもできる
防災アクション
ガイド

! 近年では、様々な気象予測の情報をインターネット上で閲覧できるようになってきています。一方、気象予測には大きな誤差が含まれることがあるため、うのみにせず参考情報として上手に使いましょう。

予測と予報は違う

気象予測には大きな誤差が含まれることがあり、参考情報として使ってください。この予測の誤差を踏まえて気象予報士が作るのが天気予報です。混同しないよううまくつかい分けましょう。


予測の得意と不得意

狭い範囲を予測する手法は、予測できる時間は短いですが、地形などを反映した詳しい予測が得意です。一方、広い範囲を予測する手法は、長時間の予測は得意ですが、地域ごとの積乱雲の発生などの細かい現象の予測は不得意です。

特に予測が難しい現象


電巻などの突風

現象の起きる範囲が狭いため、発生を直接予測することは現状では困難です。ただし、電巻が発生しそうな大気の状態はわかります。




積乱雲・線状降水帯

発生しやすさは予測できるものの、小さい現象なので直接予測はできません。未解明な部分も多いです。




台風

進路や強さの正確な予測にはまだ課題があります。現状では進路を確率的に計算し、予報円(台風中心がある確率70%の円)で情報発表しています。



南岸低気圧による雪

関東など太平洋側で南岸低気圧によって降る雪は、雪か雨かや、大雪になるかについても現状では予測が難しいです。



GPV気象予報



気象庁の詳細な予測(メソモデル)や広域の予測(全球モデル)、米国海洋大気局の予測(GFS)を参照できます。

Windy



ヨーロッパ中期予報センター(ECMWF)、米国海洋大気局(GFS)、ドイツ気象局(ICON)の予測を参照できます。

© FUKKO DESIGN JV・AD 協力:荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府防災官事務官)、藤島新也(災害担当記者)

**災害時の情報で
気をつけること**

コロナ禍でも
すぐできる!


災害時のSNSリテラシー

気象情報を適切に使いこなそう

**防災アクション
ガイド**

不安をおおる気象予測の投稿は気をつける

たとえ気象予報士の肩書きを名乗るアカウントでも注意。台風など幅があったり、信頼性が低かったりする気象予測の結果を、予報であるかのように断定的に表現し、防災行動を呼びかけている場合があります。そのような発信を執念にせず、気象庁発表の防災気象情報を利用するようにしてください。



Tropical Tidbitsより

危険を知らせる情報をチェック

大雨などは正確な予測が難しく、刻々と状況は変化します。レーダーの雨量情報や水害の危険度など、リアルタイムの情報を上手に使い、災害から身を守りましょう。




気象庁「雨量の動き」
気象庁「危険度分布」

細かければよいというわけではない

大気の状態は複雑です。先の時間になればなるほど、予測の誤差は大きくなります。数日以上先の天気は1時間ごとで詳細に出ていても、ほとんど信頼できるものではないので注意してみましょう。

東京	曇時々晴	曇時々晴	晴時々曇	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴	曇時々晴
降水確率(%)	10/20/30	30/10/20/20	30	30	30	30	30
信頼度	-	-	C	B	C	C	C
最低/最高(℃)	- / 31	24 / 33	25 / 34	25 / 33	25 / 33	24 / 33	23 / 31

予報の信頼度
気象庁の「週間天気予報」では、予報の確かさを信頼度でA・B・Cと表示しています。特にCでは予報が変わる可能性が高いため、最新の予報を確認する必要があります。

気象庁や市区町村の情報で防災行動しよう

市区町村の出す避難情報に従って避難の判断をしてください。



気象庁の発表する防災気象情報を上手に使えば、早め早めに避難の判断や行動ができます。

「緊急安全確保」の避難情報や大雨特別警報が発表されてからでは避難が間に合わない場合があります。自分や家族の状況を踏まえて、早めに防災行動をとりましょう。

© FUKKO DESIGN JV AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、藤島新也(災害担当記者)、佐々木晶二(元内閣防災官事務官)

『コロナ禍でもすぐできる！気象庁 Web サイトの使い方』

URL: <https://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2021/11/how-to-use-meteorological-agency-site.pdf>

『コロナ禍でもすぐできる！災害時の SNS リテラシー』

URL: <https://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2021/11/disaster-prevention-literacy.pdf>

【プロジェクトリーダー TBWA\HAKUHODO 兼 FUKKO DESIGN 木村充慶 コメント】

気象庁 Web サイトで提供されている情報は気象や気候などに関する一次情報として様々な機関の気象情報のベースとなっており、私たちにとっても貴重なものです。しかし、一般的な気象の情報から難しい専門的な知識まで様々な情報がまとめられているため、一般の人にとっては必要な情報が簡単に探せないこともあります。しかし、気象庁のサイトを調べ始めると、詳しい解説があったり、基礎知識を学べるガイドブックがあったり、役に立ちそうな情報が膨大にあることがわかりました。また、近年話題の気候変動や地球温暖化に関わるような資料も豊富にあります。もちろん、私のような素人にはわからない気象や気候などの専門的なデータや

レポートなども多数存在します。災害時に活用するのはもちろん、気候変動を調べるなど様々な形で活用できる気象庁のWebサイトの価値が伝わり、少しでも多くの人に活用してもらいたいと思っています。

プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー：木村充慶（TBWA\HAKUHODO／一般社団法人 FUKKO DESIGN）

アートディレクター：上村昌（TBWA\HAKUHODO）

専門家：佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、明城哲也（NPO 法人全国災害ボランティアネットワーク<JVOAD>事務局長）、藤島新也（災害担当記者）など

TBWA\HAKUHODO（TBWA 博報堂）について

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社です。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWAがグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献します。「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだすTBWA\HAKUHODOの哲学です。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出します。

<https://www.tbwahakuhodo.co.jp>

FUKKO DESIGN について

一般社団法人 FUKKO DESIGN は、「民間ビジネスの力を結集して新たな“復興”をつくる」を活動テーマに、平時のときから行政、民間企業、メディアとのネットワークを構築し、有事の時にすぐにサポートする体制をつくるほか、有事の際の被災地に関する情報発信の支援、復興タイミングにおける地域の魅力発信、企業のマッチングサポート支援などをトータルにデザインしていく団体として活動していきます。

<https://fukko-design.jp/>